

落語会・人権コンサート

主催

弥生校区地域人権教育協議会
弥生が丘自治会 健康推進部
ふれあい活動推進協議会



～みんなで育もう！地域の輪と絆～をキャッチフレーズに

12月6日（日）フラワータウン市民センター大ホールで、関西大学、落語大学OB 2名による「落語会」と『ちめいど』による「人権コンサート」を、初の試みで3部署（弥生校区地域人権教育協議会、弥生が丘自治会健康推進部、ふれあい活動推進協議会）主催で開催しました

新型コロナウイルス対策で、参加者全員マスクの着用、検温、消毒、参加者リストの作成、ホール定員の半減、換気等、感染対策を徹底して開催しました

参加者約90名は第1部の上方落語を堪能し2部で、ちめいどによる「人権コンサート」では、歌を通じ人権に対する取り組みの大切さを学びました



(参加者の声)

- ・素人とは思えない落語、すばらしかったです
- ・生の落語を聞くのは久しぶりです。やはり生はいいですね
- ・以前から、ちめいどのファンでした。今回のコンサートでは人権の大切さを学びました
- ・これだけの規模の企画の準備や当日の運営大変だったと思います。関係者の方々お疲れ様でした
- ・人権という「かたぐるしい」と思っていたのですが、今回のような催しで人権学習が出来るのはいい事です
- ・コロナウイルス感染が心配でしたが、感染対策がきちりできていてよかったです

感謝の思いでいっぱいです

12/6、弥生が丘の人権コンサート無事終了いたしました

コロナ禍で開催も大変悩まれたとのことですが会場の椅子の間隔(ひと席空けて消毒、マスク着用、検温 など徹底した上でおこなわれました。落語のかた2組のあと、ちめいどの出演ふたりで舞台に立てたことが、奇跡であり、心から嬉しくおもいます

不十分なところが、もちろんなかったわけではなく、久しぶりのステージに緊張したり、声がおもったように出なかつたり、もありましたが、皆さんに喜んでいただき、三田市、三田市人権を考える会のみなさんの後援と、主催された弥生が丘の地域をよくするために活動されている役員のみなさん、当日を迎えるまでに打ち合わせや準備、影で支えてくださったかたが大勢おられます。会場は本当にちょうど定員数の半分ぐらい。間隔を充分にとり、たくさんのかたが集われていました。

コロナ禍だからこそ、ひとりを大切に、心を元気にする必要があるし、勇気ある決断で開催されたのは素晴らしいことだとおもいます。

普通のことではない、奇跡の1日だったと、感謝で溢れています
三田市弥生が丘地区のみなさん、本当にありがとうございました
雄介

ちめいどからの
メッセージ
ブログより

ちめいどプロフィール

兵庫県伊丹市生まれ丹波篠山育ち、三田市在住の
メッセージデュオ 兄：雄介 弟：雄大

生きることの素晴らしさ、生命の大切さ、人生の
応援歌を歌うスタイルやメッセージから、学校や
地域からの出演依頼も多い

人権学習としての講演、コンサートも多数開催

関西大学、落語大学 OB 会プロフィール

関西大学落語大学 OB 会西宮支部に現在約30名が
所属しており上方落語の楽しさを少しでも多くの人
々に素人の立場で広めていけたらという願いと、会
員それぞれのボケ防止を目的に活動しています
年に6回の定期公演会の他、要請がありましたら
出前寄席を各地の施設などで行っています

弥生校区地域人権教育協議会、規約の抜粋(第2条・目的)

第2条 本会は、部落差別をはじめ、あらゆる差別の根絶をめざして、すべての人の人権が尊重される住みよい弥生が丘地域を確立するため、広く人権意識の高揚と人権教育の推進ならびに啓発を行い地域生活に根ざした、明るい地域づくりを進めることを目的とする

報告:弥生校区地域人権教育協議会、弥生が丘自治会 健康推進部、ふれあい活動推進協議会